



## 目標 夏や秋の様子と比べて、気付いたことを話し合おう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・今の季節を確認する。
- ・夏や秋の校庭は、どのような様子だったか想起させる。
- ・「夏や秋と、冬のちがいを考えることを伝える。

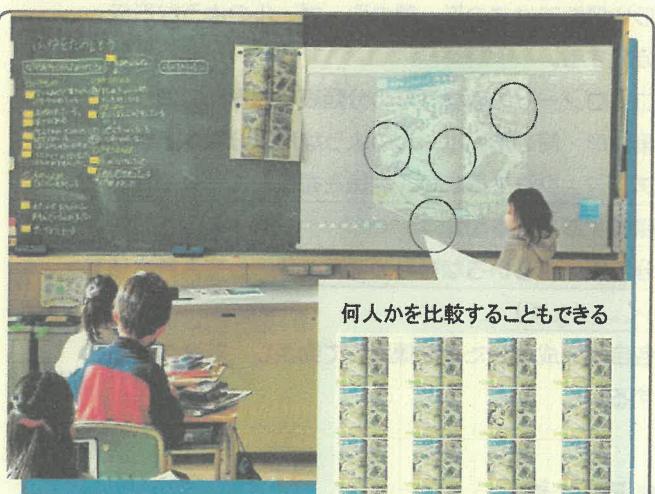


#### 活用Point①

- 💡
- ・気付いたことに○を付けることで、児童の考えが分かる。
  - ・スクロールで、夏や秋の画像を確認できるので、比較しながらできる。

#### ■展開

- ・ロイロノートの操作方法を教える。
- ・夏や秋、冬の資料を比較して、気付いたところに○をつけさせる。(①)
- ・プロジェクターで提示し、ヒヤリングしたことを確認する(②)
- ・数名に発表させる。
- ・確認するだけでなく、夏や秋とは違う理由についても考えさせる。



#### 活用Point②

- 💡
- ・考えを直ぐに共有できる。
  - ・他の児童の学びを確認することができる。

#### ■まとめ

- ・夏や秋と比べて気付いたことをワークシートにまとめる。
- ・あいさつをする。

### ふりかえり

- ・スクロールで画像を比較できるので、違いを見つけやすい。
- ・考えを直ぐに共有することができるので、時間短縮になる。
- ・タブレットの画面が黒板に映るので、友達の考えが見やすい。
- ・発表した児童の意見を、自分のタブレットで直ぐに確認できるので便利。



**目標** 身の回りにある立体の観察をして、形の特徴を捉えたり、仲間わけをしたりすることができる

## 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

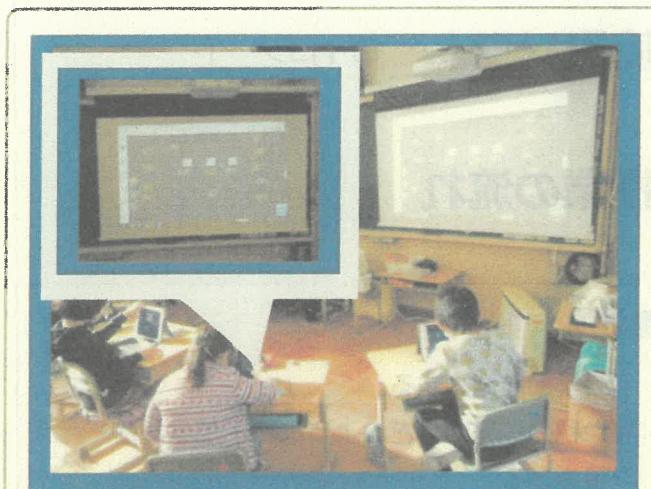
- ・前時の活動を想起する。（積み木や箱や缶などを使って動物や乗り物を作った活動）

#### ■展開

- ・箱や筒、ビー玉などを積んだり転がしたりして遊ぶ。
- ・形や機能ではこの形・筒の形・ボールのような形に分類する。
- ・ロイロノートの教材（形の分類表：自作）を使って箱の形・筒の形・ボールのような形に分類する。
- ・プロジェクタで提示し、映像を見せ、操作の仕方を確認する。（①）
- ・分類表にいろいろなものの写真を分類して入れさせていく。（②）
- ・各自が完成させた表を提出して発表し、答えの修正をする。

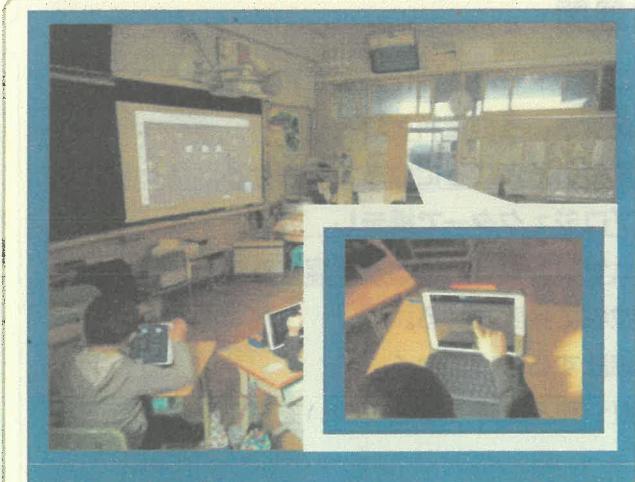
#### ■まとめ

- ・積んだり転がしたりして体験したことや手ざわりや見た形の特徴から形を分けたことをふり返る。



#### 活用 Point①

- ・プロジェクタで提示し、操作の仕方を確認することができる。
- ・個々の進度に合わせて進めることができる。



#### 活用 Point②

- ・画面タッチするだけで部品を動かしたり修正したりすることができる。
- ・部品を簡単に拡大して特徴を確認することができる。

### ふりかえり

- ・個人のペースで学習を進めることができる。画面タッチするだけで部品を動かしたり修正したりすることができる。
- ・一つ一つの部品（立体の写真）を拡大して、立体の特徴を確かめながら分類作業を進めることができる。
- ・タブレットの画面が黒板に映るので、友達の考えが見やすい。



## 目標 友だちのものがたりで よかったところを つたえよう

使用ソフト ロイロノート  
カメラ機能

### 授業の流れ

#### ■導入

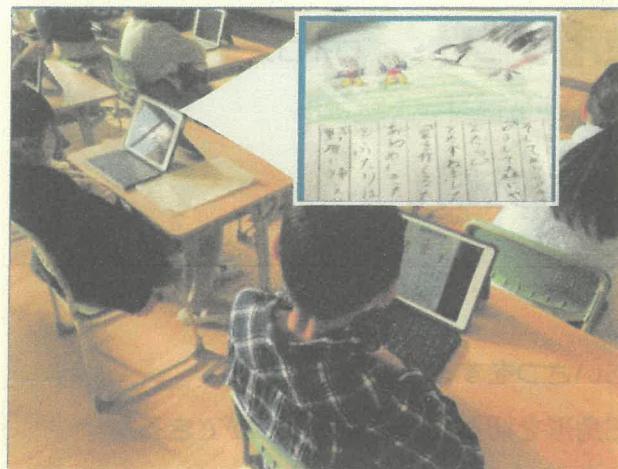
- ・あいさつをする。
- ・本時のめあてを確認する。
- ・ロイロノートで作成した「お話のさくしやになろう」のノートを開く。

#### ■展開

- ・共有された提出箱の回答から、読みたいシートを自分のノートに貼り付ける（①）
- ・読み終わったシートはノートから消す。
- ・読んだ感想をテキストに書く。
- ・友達に読んだ感想を送る。（②）

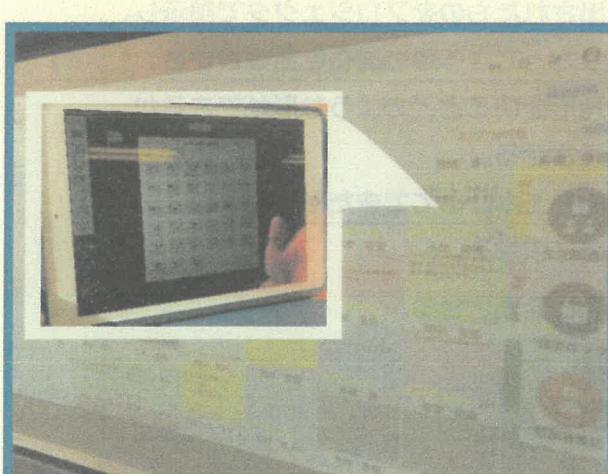
#### ■まとめ

- ・感想を読んで、ふり返りをする。
- ・あいさつをする。



#### 活用 Point①

友達のシートを自分のノートに持ってきて、自分のペースで読める。



#### 活用 Point②

読んだ感想を、個別に送信できる。

### ふりかえり

- ・各自のタブレットで友達の作品が読めるので、全員分の作品を読むことができるようになった。
- ・直接友達から感想が届くので、書いた喜びを味わうことができる。



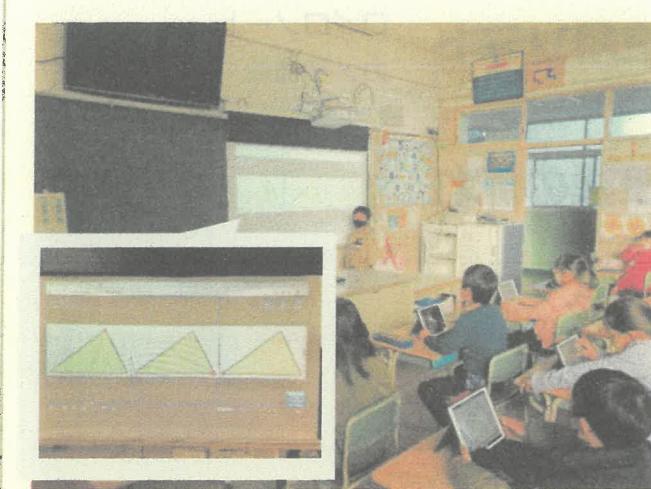
## 目標 どのように切ればどんな形ができるかをしらべよう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

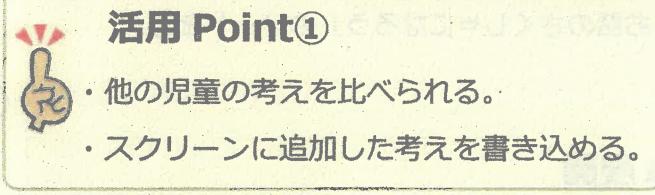
#### ■導入

- ・あいさつをする。
- ・三角形を切るとどのような形ができるか考えさせる。



#### ■展開

- ・三角形に直線を1本ひいてできた形を確かめ、提出させる。
- ・提出されたものをプロジェクタで掲示し、切り方とできる形の関係を発表させる。(①)
- ・四角形を切るとどのような形ができるか考えさせる。
- ・直線を1本ひいてできた形を確かめ、書きこませる。(②)
- ・数名に発表させる。



#### 活用 Point①

- ・他の児童の考えを比べられる。
- ・スクリーンに追加した考えを書き込める。



#### 活用 Point②

- ・じょうぎのマークをおすと、きれいな直線がひける。

### ■まとめ

- ・三角形と四角形の定義をもう一度確認する。
- ・あいさつをする。

### ふりかえり

- ・他の児童の考えを比べられるので、同じ部分を見つけ、答えが1つではないことに気づける。
- ・資料箱に図形を入れておくことで、何回も同じ图形で色々な考え方ができる。
- ・提出箱をできた图形ごとに分けておくと、見やすい。



## 目標 まちの すてきを つたえよう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

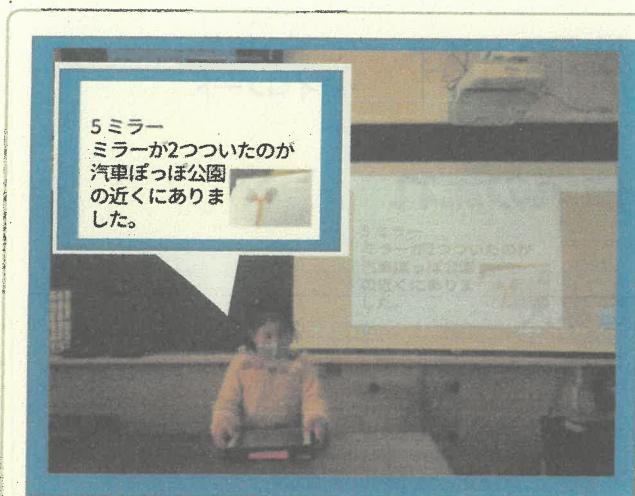
- ・あいさつ
- ・ロイロノートを開き、生活科で、「まちたんけんの発表」を作ったノートを開き、自分の発表の練習をする

#### ■展開

- ・順番に、発表する児童のノートを開き「生徒発表」を選択する。
- ・発表者は、自分のタブレットに配信された発表ノートを見ながら発表をする。（①）
- ・聞く児童は、自分のタブレットに配信された画面を見ながら発表を聞く。（②）

#### ■まとめ

- ・発表で聞いたこと、見たことから分かったことを4人グループで伝え合う。
- ・あいさつ



#### 活用 Point①

- ・自分の発表のペースに合わせて、ページを送ることができる。



#### 活用 Point②

- ・発表を文字と絵や写真で確認しながら聞くことができる。

### ふりかえり

- ・耳からの情報だけでは理解が十分でないことも、文字も見て発表内容について確認をすることができるので良い。
- ・各自のタブレットに配信された画像は、それぞれの端末で拡大することができるのが良い。



## 小牧市ICT活用事例（番号）

### 3年 体育科 マット運動

味岡小学校 小川彰護先生

## 目標 後ろに回るわざにちょうどせんしよう

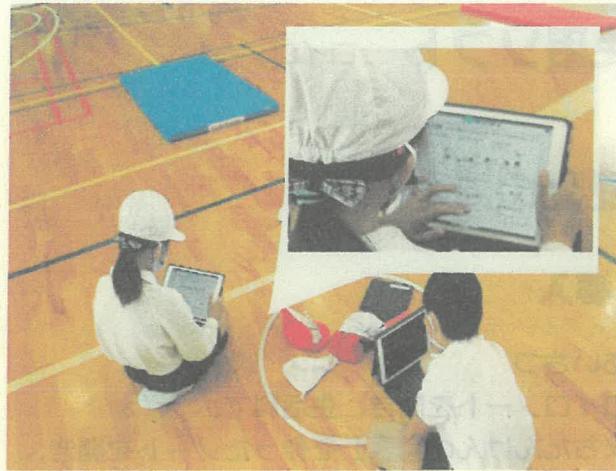
### 使用ソフト

- ・ビデオ機能
- ・ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・準備体操をする。
- ・感覚を高める運動（ゆりかご）を行う。
- ・本時のめあてを確認する。

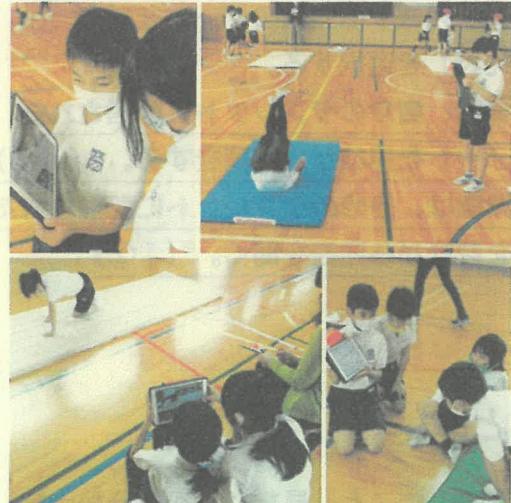


#### 活用Point①

- ・情報を一度に配布することができる。
- ・何度も技のポイントが確認できる。

#### ■展開

- ・後転系の技のポイントを確認する。（①）
- ・アドバイスし合いながら、  
後転系の技に挑戦する。（②）



#### 活用Point②

- ・自分の動きを客観的に見ることができる。
- ・スローで撮影することで技のポイントを意識しながらアドバイスし合うことができる。

### ■まとめ

- ・本時に気をつけたことやよかったですなどを伝え合う。

### ふりかえり

- ・3年生でもビデオ機能を使いこなすことができた。
- ・自分の動きを客観的に見ることができ、意欲的に練習に取り組むことができた。
- ・タブレットを使うことで効果的な話し合いをすることができた。



## 目標 リコーダーの「#ソ」の使いを覚えよう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・楽譜と音符を一致させるために、楽譜を指でなぞりながら教師の模範演奏を聞く。
- ・ロイロノートで教師の運指を撮影した動画を送る。

#### ■展開

- ・楽譜とリコーダーを準備する。
- ・楽譜と、教師から送られてきた動画を見ながら各自で練習する。（①）
- ・慣れて演奏できるようになってきたら、動画を撮影して、提出箱に提出する。（②）

#### ■まとめ

- ・画面配信をし、各自で何人かの友だちの演奏を聞く。
- ・友だちの演奏の良かったところを伝えたり、アドバイスをしたりした後、全体で数名の演奏を聞き合う。

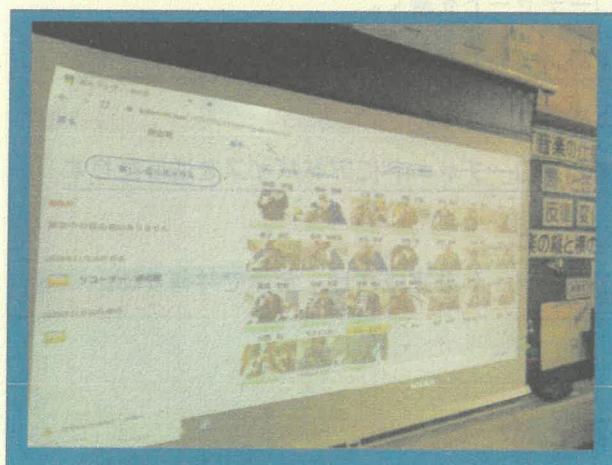
### ふりかえり

- ・リコーダーが苦手な児童も普段より意欲的に取り組む様子が見られた。教師の範奏は、必要のない児童もいたが、ほとんどに児童が一度は見ていて。
- ・一人ひとりの評価が後からじっくりとできると感じた。



#### 活用 Point①

苦手な部分を何度もくり返し見ることができる。また、動画の速さを変えることが出来るのでゆっくり練習することもできる。



#### 活用 Point②

指の動きがよくわかるように、動画を撮らせる。



## 目標 フローチャートを書く活動を通して、プログラミング的思考を培う

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・前時の活動（「歯磨き」の過程をフローチャートに書き表す活動）を想起する。
- ・本時のめあて（「目玉焼きの過程をフローチャートに書き表そう」）を確認する。

#### ■展開

- ・フローチャートを書く。
- ・ロイロノートで共有し、自分のフローチャートを修正する。（①）
- ・友達のフローチャートにアドバイスを送ったりする。（②）
- ・フローチャートを完成させ、全体で共有する。

#### ■まとめ

- ・フローチャート有用性を考える。
- ・授業のふり返りをする。

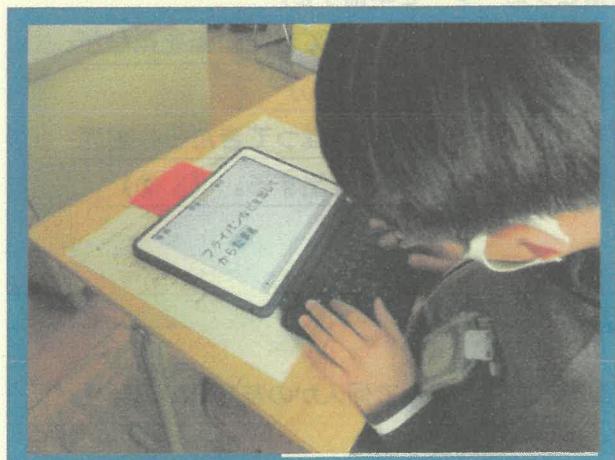
### ふりかえり

- ・考えを共有して、自分の考えと比較する。そこから新しい着眼点を得て、考えを再構築する。それが“学びの深まり”につながっていたと感じる。また、生徒間通信を使ってより多くの友達と意見交流できる点もロイロノートの利点だと考える。



#### 活用 Point①

回答を共有し、友達の考え方や着眼点を知ることで、自分の考えを練り直すことができる。



#### 活用 Point②

生徒間通信を実施することで席が離れた友達とも意見交流ができる。



## 目標 グラフから必要な情報を読み取って問題を解こう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・グラフを提示して、足りない情報を考える

#### ■展開

- ・資料を配布して、個人で考える
- ・資料をもとに、グループで考えを共有する  
(①)
- ・タブレットを見せ合いながら、考えを説明する
- ・資料をプロジェクターで投影し説明させ、全体で考えを共有する

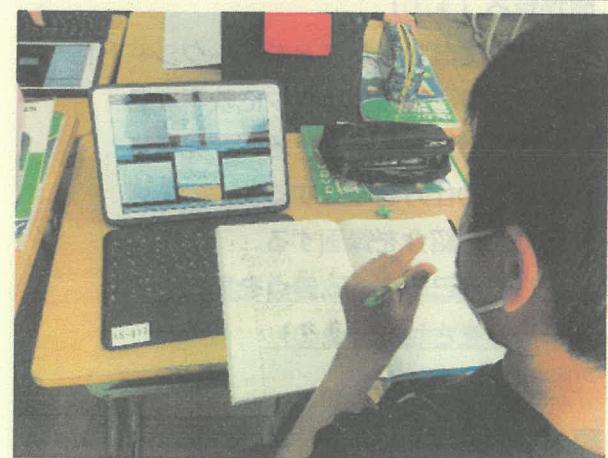
#### ■まとめ

- ・グラフから読み取ったことをノートに書く
- ・ふり返りを書く
- ・ふり返りを提出し、友達のふり返りを読む  
(②)



#### 活用Point①

- ・自分が必要な資料を見ることができる
- ・資料に書き込むことができる



#### 活用Point②

- ・考えをより深めることができる
- ・書くことが苦手な児童の参考になる

### ふりかえり

- ・配布した資料に簡単に書き込むことができ、提示もできる。
- ・ふり返りを写真で撮らせ提出させると、評価がしやすい。
- ・解き方を共有させると、自らの考えを再構築する手助けになる。



小牧市ICT活用事例（番号）

## 6年 外国語科 This is me!

味岡小学校 保坂忍先生

### 目標 世界の国々を知り、自己紹介をしよう

使用ソフト デジタル教科書  
カメラ

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・あいさつをする
- ・天気、日付、曜日を確認する
- ・スティーブジョブズの話をする
- ・ポイントとなる英文について説明する



#### ■展開

- ・デジタル教科書で自己紹介の映像を見せる
- ・イヤホンを使って、個々に気になるところを聞かせる（♪①）
- ・映像を見て分かったことをワークシートに書き込ませ、プロジェクタに映写する
- ・事前に撮った教員の自己紹介を見せる
- ・自己紹介の仕方を確認する
- ・自分で自己紹介を録画する
- ・録画した自己紹介の改善点を見つけ、録り直しをさせる（♪②）



#### 活用Point①

好きな箇所を繰り返し聞くことができる



#### 活用Point②

何度も動画を見返すことによって、工夫して表現しようとする意欲を養うことができる

#### ■まとめ

- ・ふり返りをする
- ・自己紹介で工夫したこと、気付いたことを発表する
- ・あいさつをする

### ふりかえり

- ・聞きたい箇所を、個人のペースで自由に集中して聞けるのが良い
- ・自己紹介を自分で録画し見直す中で、工夫して英語を話そうとする意欲が見られた
- ・録画することで、子どもの工夫を評価できる



## 目標 今年の抱負を書き、そこに込めた思いを伝えよう

使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- 新年を迎え、今年1年間で自分が取り組みたいことや頑張りたいことを考える。
- 自分の思いをペアで伝え合う。



#### ■展開

- 練習し、清書をする。
- 清書したものをタブレット端末のカメラで撮影し、提出箱に提出する（①）



#### 活用 Point①

- 自分の作品をカメラで撮ることで、データとして蓄積することができる。
- 単元の始めと終わりの作品を比較することで、技能の向上や変容を知ることができる。



#### 活用 Point②

- 一覧で提示することで全員の作品を瞬時に共有することができる。

#### ■まとめ

- 全員の作品が提示された画面から、気になる作品を選び、友達の抱負に込めた思いを全体で交流し、共有する。（②）

#### ふりかえり

- 全体で素早く共有できるので、より多くの友達の作品の良さにタイムリーに気づくことができた。
- データを蓄積することで、一人ひとりの技能の変容がとらえやすいと感じた。



小牧市ICT活用事例

## 6年 総合的な学習 外国の文化を調べよう

味岡小学校 舩橋玄先生

### 目標 友達のリーフレットを読み、良いところを伝えよう

#### 使用ソフト ロイロノート

#### 授業の流れ

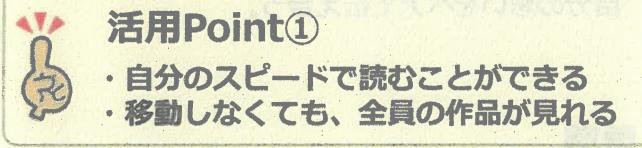
##### ■導入

- ・外国の一か国について詳しく調べ、リーフレットにまとめたことをふり返る。
- ・机上のリーフレットを読み返す



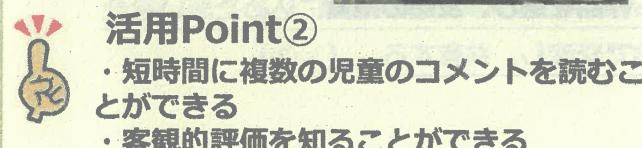
##### ■展開

- ・グループでリーフレットを読み合い、感想を交流する
- ・教員機でロイロノートを開き、児童から集めたリーフレットがある提出箱を提示する
- ・回答を共有させ、タブレットでもリーフレットが見れるようにする
- ・友達のリーフレットの良かったところの画像をテキストに貼り付け、コメントを書く（①）
- ・教員機で生徒間通信を許可する
- ・コメントを友達へ送信する、自分へのコメントを読む（②）



##### 活用Point①

- ・自分のスピードで読むことができる
- ・移動しなくても、全員の作品が見える



##### 活用Point②

- ・短時間に複数の児童のコメントを読むことができる
- ・客観的評価を知ることができる

#### ■まとめ

- ・作ったリーフレットの良かったところ、改善点を書き出す
- ・ふり返りを書く

#### ふりかえり

- ・座席を移動しなくても、作品を見れるのが良い。
- ・自分のペースで、コメントを書ける。
- ・よかったですが、分かりやすく知らされるので、次回に生かしやすい。



## 目標 身近なものを、いろいろな立体の見方で表そう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

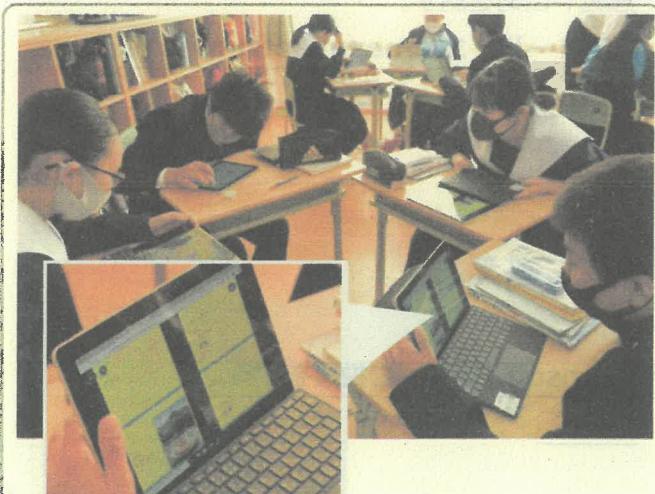
- ・本時の課題を提示
- ・カードを配布



 **活用Point①**  
実際のものの写真などを使用できるので、まとめやすい。

#### ■展開

- ・身近なものをいろいろな見方を考えさせる。
- ・見つけたものを、ロイロノートを使ってまとめる。（①）
- ・まとめたカードを提出させる。
- ・全員のまとめを見て、グループで深める。（②）
- ・全体で疑問を共有する。



 **活用Point②**  
同じ見方のカードのみ比較し、考えることができる。

#### ■まとめ

- ・同じ見方ができる立体の特徴について考えさせる。
- ・本時のふり返りを書かせる。

### ふりかえり

- ・言葉で説明したり、図をかいたりするのが苦手な生徒も写真や画像を取り込むことで、伝えたい内容をまとめ、表現することができた。
- ・必要な情報のみを取り上げ、比較することができるので、特徴をつかみやすく意見や考えをもつ生徒が多く見られた。



## 目標 全校生徒の、生徒会テーマに対する考え方をまとめることができる

### 使用ソフト

Microsoft Forms  
SKYMENU Cloud  
(QR コード読み取り)

### 意識調査の流れ

#### ■ 意識調査の内容を検討

- 生徒会本部が生徒会テーマに関する質問を考え、教員が Microsoft Forms で作成する。

#### ■ 意識調査

- 生徒会本部が全校放送を使い、意識調査の意義や目的を話す。
- QR コードを Skymenu Cloud を用いて読み取り、投票ページにいく。 (①)

#### ■ 調査に答える

- Microsoft Forms で投票をする。 (②)

**活用 Point①**

教室の前後左右の4カ所に張られた QR コードを読み取ると、投票ページにすぐにいける。

**活用 Point②**

投票ページの質問にクリックするだけでよい。記述式の質問をすることもできる。

### ふりかえり

- 調査結果は棒グラフや円グラフとなってすぐに集計することができて、生徒に素早くフィードバックすることができた。
- 記述式の質問をすることで、全校生徒の細かな意見まで知ることができた。



**目標** この作品は、どのような工夫を用いて描かれているのかを考えよう

**使用ソフト** ロイロノート  
Microsoft PowerPoint

## 授業の流れ

### ■導入

- ・本時のめあて(モニター提示)
- ・本時の説明 (Microsoft PowerPoint)
- ・資料配布 (ロイロノート)

### ■展開

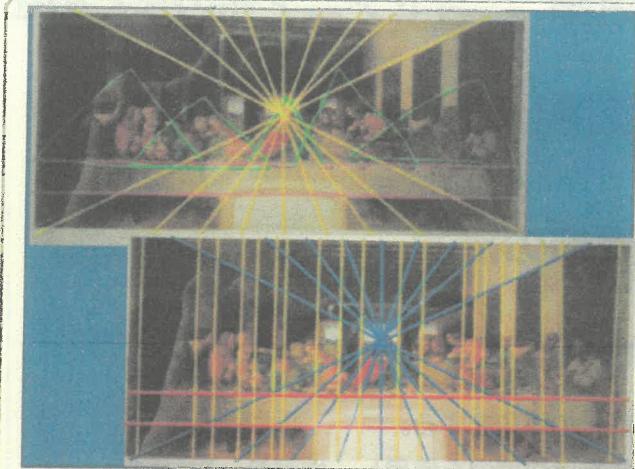
- ・描き方から、造形的なよさや美しさ、構成や一点透視図法を読み取ることができる  
(①)
- ・感じ取った作品のよさや美しさを生徒同士で批評し合い、自分一人では気づかなかつた良さを発見できる (②)
- ・作品に興味関心を抱き、見方を深めることができます

### ■まとめ

- ・まとめを記述する
- ・ロイロノートで提出し、共有する (②)

### ふりかえり

- ・作品の上に書き込むことではっきりと目視でき、消すこともできる可逆性により、書き込むことへのハードルが下がる
- ・ロイロノートで共有することで、人前で発表することが苦手な生徒の考えを知ることができます
- ・次の単元の風景画で、自分の描きたい場所を写真で写し、補助線を入れ構図を考えるなど、知識の定着が見られた



### 活用 Point①

- ・絵に線や気が付いたことを書き込むことができ、次の時間にも確認できる



### 活用 Point②

- ・班で共有し、お互いの考えを目視できる。書き加えたり、消したり自在にできる
- ・まとめを書いたあと、ロイロノートで共有できる





## 目標 オセアニア州のまとめをしよう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- 前時の確認をする。
- 本時は白地図を使用し、地図帳、教科書、ロイロノートの資料などを参考に（①）  
まとめるよう指示する。

#### ■展開

- オセアニアの中で有名な場所の写真を送り、生徒はその場所を、白地図上に示す。（②）
- グーグルマップのリンク先を送る。  
必要な生徒は活用して、さらに調べる。

#### ■まとめ

- 「オセアニアってどんな場所？」というカードを配布し、回答を提出させる。

オセアニアはオーストラリアなどの先進国があるし先住民や移民が共生している多文化社会なんだと思いました。

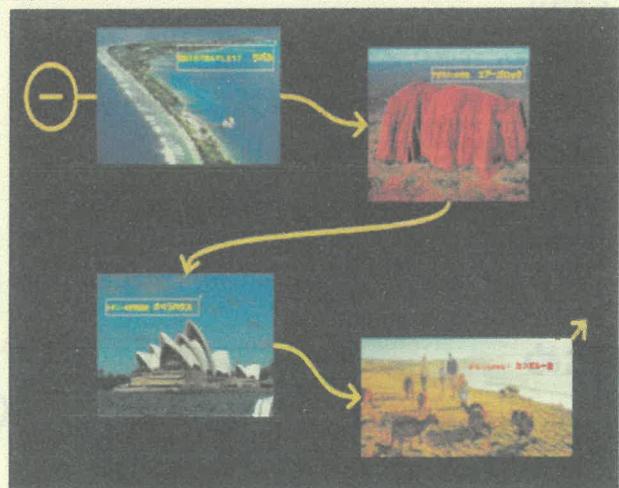
僕はこの単元をやる前はオーストラリアは砂漠とコアラくらいしかないとあってたけど終わってからは世界遺産もあるいい国だとおもいました

オーストラリアは、初めはカンガルーとコアラのイメージが大きかったけど、農業や鉱工業も盛んな国だと分かった。

#### 活用Point①



学習内容を残しておける。  
単元を通した学習が意識できる。



#### 活用Point②



資料集にはない写真を、簡単に提示できる。

### ふりかえり

- 資料の提示がしやすくなった。子どもたちが自由に書き込めるのも利点。
- 設定すれば、クラス皆の意見が手元のタブレットで分かる。この先活用したい。



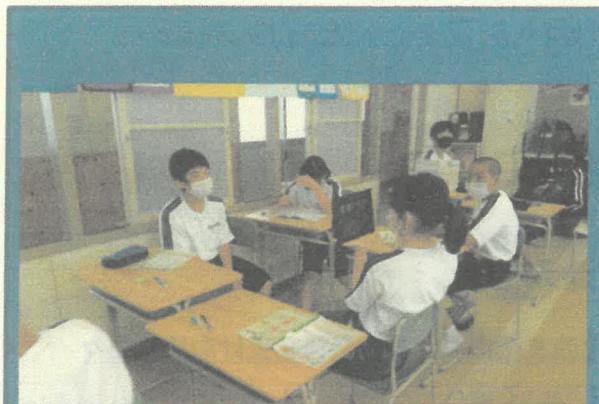
**目標** 自己紹介の英語を、表情を意識しながら、正確な発音とイントネーションで発表する

## 使用ソフト カメラ

## 授業の流れ

### ■導入

- 教科書の自己紹介のモデル文を読み取らせる。
- 自己紹介文を書くように指示する



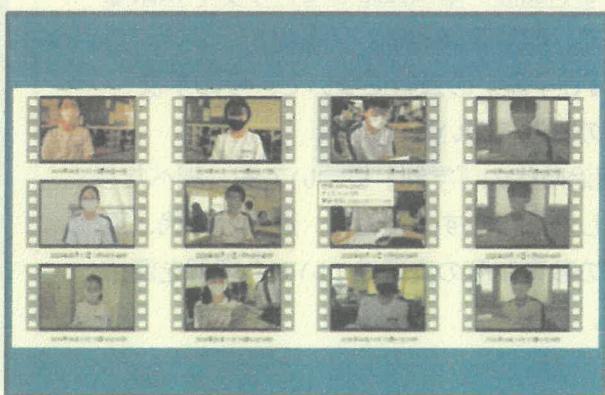
### ■展開

- 正確な発音とイントネーションを意識してスピーチの練習をさせる。
- ペアでお互いのスピーチを撮影させる。  
(①)
  - 撮影した動画を確認して、良い点と改善点をワークシートに書き、アドバイスさせる。
  - 改善点を意識しながら練習させる。
  - もう一度撮影させる。
  - 動画を保存させる (②)



### 活用Point①

自分のスピーチを客観的にふりかえることができる。



### 活用Point②

過去と比較しながら、3年間でスピーチの上達を目指すことができる。

## ■まとめ

- 本時をふりかえる。

## ふりかえり

- 撮影した動画を見させることで、改善点を意識させながら、繰り返しスピーチの練習を行うことができた。
- ペアでの積極的にアドバイスをしあう姿が見られ、楽しみながら活動をしていた。

**目標 江戸時代後期の新しい学問や文化の特色について調べる****使用ソフト ロイロノート****授業の流れ****■導入**

- ・化政文化についての資料を受け取り、各々について調べる。（❶①）

※ 既習しており、ロイロノートに配布済みの資料『元禄文化』と比較することで、それぞれの特色の相違に気づく。

**活用Point①**  
資料配布

**■展開**

- ・調べたことを伝え合う。
- ・興味や関心、疑問に応じて、ネット検索をして、理解を深める。（❶②）
- ・『寺子屋』の資料について、今の学校との相違について考える。

※ 明治時代の『学制』についても、調べたり話し合ったりすることで、近世と近代、現代の教育制度の変遷についての理解を深める。

**活用Point②**  
ネット検索

**■まとめ**

- ・本時のふり返りをする。

**ふりかえり**

- ・黒板に掲示していた資料を生徒全員に送ることで、より調べやすく、ふり返りもしやすくなった。また、拡大ができるため、関心を高め、詳細に考察することができた。



## 目標 地層の問題を解けるようになろう

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

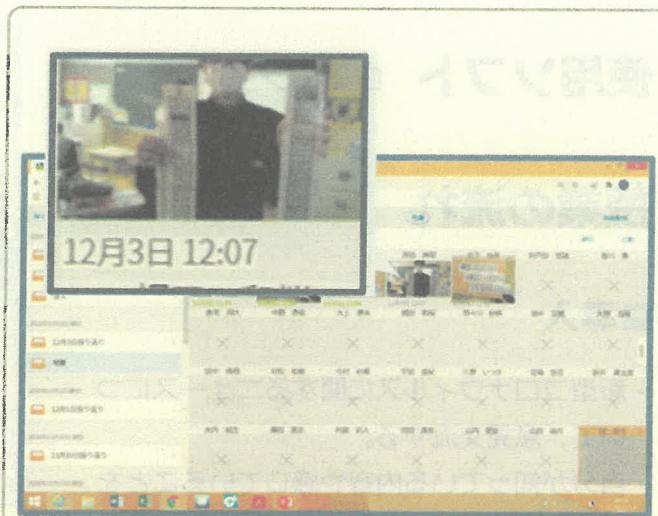
- ・本時は地層の柱状図の問題について平面で描かれている問題を立体的に考えると告知する。

#### ■展開

- ・柱状図のモデルをもって、東西南北から見た視点を撮影して、どのような地層が広がっているかを写真を共有し、話し合わせる。
- ・自分たちが考えるうえでわかりやすい写真を提出して、全員で共有する。（①）
- ・なぜその解答になったかを参考にした映像を含めて説明させる。
- ・別問題を提示し、個人＆グループで考える。（②）

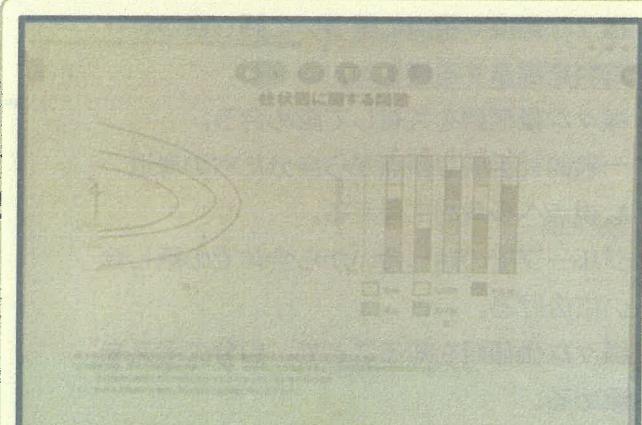
#### ■まとめ

- ・授業の振り返りをする。



#### 活用Point①

うまく撮ることができない班でも、他の班の写真を参考にすることで考えることができる。



#### 活用Point②

複数の問題の展開もスムーズにできる。

### ふりかえり

- ・地層で大切なイメージ力を向上させることができた。
- ・簡単にイメージの共有することができた。



## 小牧市ICT活用事例（番号）

# 2年 道徳科 全体のためには、何をどうしたらいい？ (公徳心・公共の精神)

光ヶ丘中学校 加藤順子先生

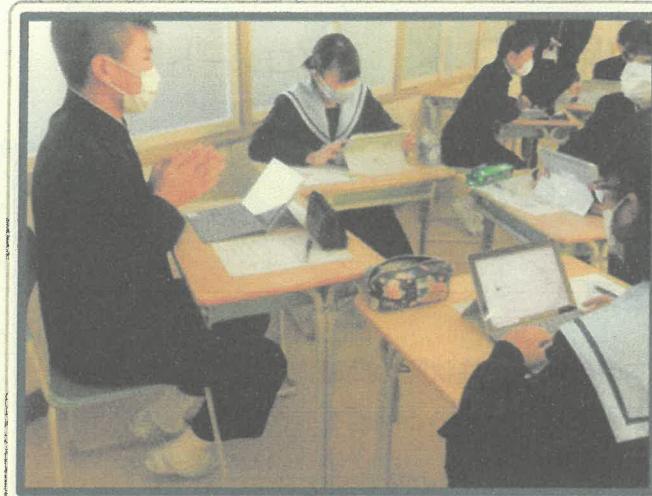
**目標** 身近な社会現象を自分のこととして考え、話し合い、多様な価値観に気づく

**使用ソフト** ロイロノート

## 授業の流れ

### ■導入

- ・新型コロナウィルスに関するニュースについて、意見交流する。
- ・自分が知っている内容や感じていることを意見交流する。



### ■展開

- ・「新しい生活様式」のあり方について、様々な角度や視点に基づいて話し合う。
- ・資料を提示する (①)
- ・様々な価値観を共有して認め合う。
- ・一般的社会的な観点から自分たちの身近な視点へ多角的に考える。
- ・グループでの話し合いから全体での話し合いに広げる。
- ・様々な価値観を知ることで、自分の考えを深める。

 **活用Point①**  
話し合う視点を提示

【振り返り】											
12月9日 15:00											
白井 実典	林 茜奈	高木 未来	高橋 優人	高橋 有紗	波瀬 紗希	福地 ひのか	家弓 梢生	長崎 ひなの	伊藤 瑞穂	大澤 麻理	丸山 駿介
12月9日 15:00											
家村 麻衣子	大澤 麻理	丸山 駿介	丸山 駿介								
12月9日 15:00											
伊藤 瑞穂	大澤 麻理	丸山 駿介	丸山 駿介								

 **活用Point②**  
振り返りを共有

### ■まとめ

- ・学んだことや感じたこと、これから自分に生かしたいことをまとめる。
- ・みんなの振り返りを共有する (②)

## ふりかえり

- ・他教科で多く実践しているおかげで、生徒の取り組みはとてもスムーズだった。資料の活用にしても意図的に出せるのはよいと感じた。
- ・振り返りに関してもノートに記入することで、よく考えてより多くの内容がまとめられていたように思う。



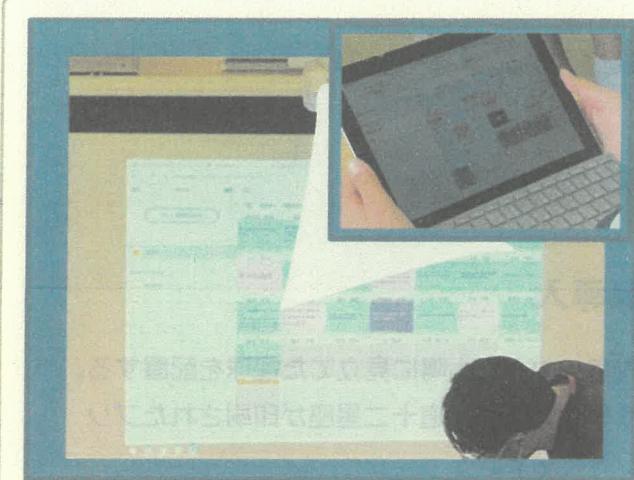
## 目標 どんな場合でも法や決まりは優先されるのだろうか

### 使用ソフト ロイロノート

### 授業の流れ

#### ■導入

- 世の中にあるルールについて話し合う。



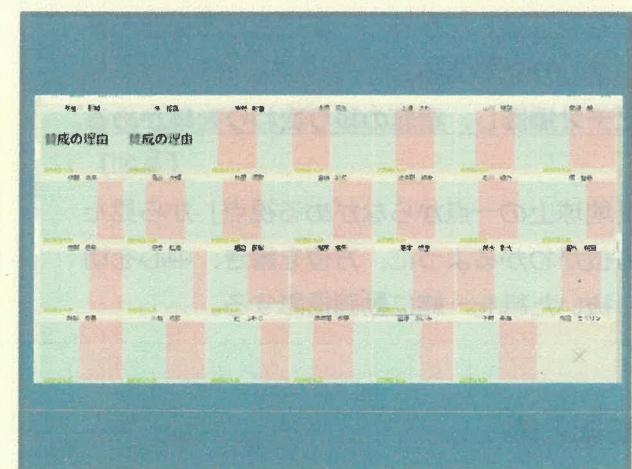
#### ■展開

- 新聞の投書①を読み、ロイロノートにて、賛成なら青、反対なら赤のシートに理由を書き、提出させる。（①）
- 全体で意見を共有する。
- 新聞の投書②を読み、投書①と比較して、賛成なら青、反対なら赤のシートに理由を書き、提出させる。
- 投書及び、他者の意見を踏まえて、「どんな場合でも法や決まりは優先されるのだろうか」についてグループで話し合う。
- 全体で発表する。



#### 活用Point①

意見はリアルタイムで反映されるため、意見が変わった生徒は生徒の手元の端末からでもすぐにわかる。理由も読める！



#### 活用Point②

二つの色を組み合わせることで、どちらの意見に傾いているが視覚的にすぐわかる！

### ■まとめ

- 最終的な自分の意見を赤青の2択ではなく、赤青合わせて100%としたグラフにして、ロイロノートで示す。（②）
- 本時をふりかえる。

### ふりかえり

- ロイロノート上で、YES/NOの意見が視覚上で一見してわかるため、この方法は非常に有効であった。
- リアルタイムでの意見反映は生徒の反応もよく、「変わった！」などの声もあがり、授業がより活発になった。

**目標 地球の公転による、星座の移り変わりを理解する****使用ソフト カメラ****授業の流れ****■導入**

- 教室の中心に太陽に見立てた電球を配置する。
- 教室の壁面に黄道十二星座が印刷されたプリントを貼る。

**■展開**

- 地球儀を使い、一日における星座の移り変わりを考える。
- 教室を移動しながら、一年における星座の移り変わりを考える。
- ビデオ撮影し、星座の移り変わりを確かめる。**  
  
「地球上の一点からながめる視点」から見た方位がわかるように、方位を書き、中心を切り抜いた紙と一緒に動画撮影する。

**■まとめ**

- 撮影した映像を見せ合い、考えを伝えあうことで、理解を深める。**   
本時をふりかえる。

**ふりかえり**

- 動画撮影をすることで、「太陽上空から眺める視点」と「地球上の一点から黄道十二星座をながめる視点」間の視点移動をイメージしやすくなった。
- 撮影した映像を使って、星座の移り変わりを説明することで、自分の考えを伝えやすくなつた。

**活用Point①**

動画撮影することで、「太陽上空から眺める視点」と「地球上の一点から黄道十二星座をながめる視点」間の視点移動を助ける。

**活用Point②**

撮影した動画を見せ合い、考えを伝え合うことで、理解を深める。



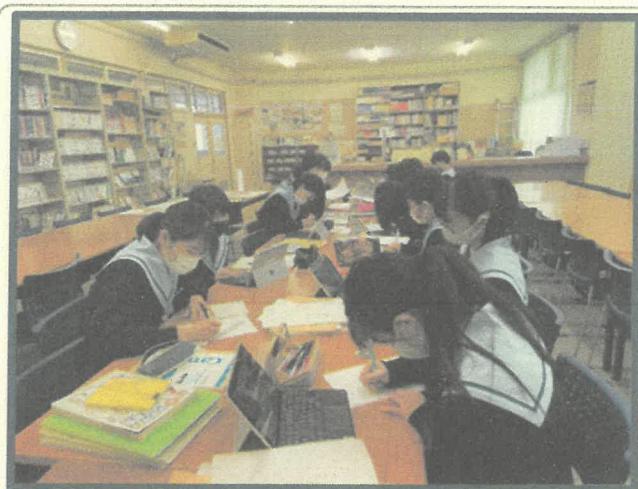
## 目標 ハードル走のタイムを速くしよう

### 使用ソフト カメラ

### 授業の流れ

#### ■導入

- ・速く走る為に1限目に仮説を立て、2~4限で自分の課題を見つけ、改善方法を調べ、練習し、5限目でレポート完成し提出する。と本時から5時限目までの予定を示す。

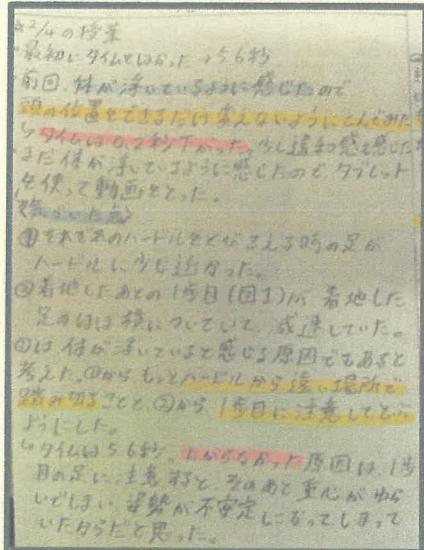


#### 活用Point①

一人一台タブレットで検索可能

#### ■展開

- ・30mハードルを3台のハードルを好きなところへ置いてを行う。
- ・各自で本やインターネットなどで、自由に調べ、仮説を立て、実践を行い、レポートを書く。
- ・一人一台タブレット使用可。（①）
- ・タイムはいつ計ってもよい。
- ・振り返りを見直す（②）



#### 活用Point②

タブレットで撮影  
⇒自分の課題発見

#### ■まとめ

- ・書いたレポートを提出させる。

### ふりかえり

- ・タブレットで検索したときに、インターネット環境が悪く諦めることもあり、今後改善していく必要があると思う。撮影は、自分を客観的に見ることで改善につながった。

